

日本キャリア教育学会研究推進委員会企画

## キャリア教 Cafe 第1回キャリア教育カフェ実施報告

共催 研究推進委員会，近畿地区部会

研究推進委員会の新企画「第1回キャリア教育カフェ（キャリア教カフェ）」の報告です。「キャリア教育カフェ（キャリア教カフェ）」とは、自由な研究交流を行う場であり、冒頭に20分程度の話題提供をゲストにいただき、その後は参加者全員でざっくばらんにトークするライブ感覚の交流の場です。

2021年6月7日（月）19:00-20:30、オンラインによる第1回キャリア教育カフェ（キャリア教カフェ）を研究推進委員会，近畿地区部会の共催で開催しました。今回のテーマは「オタクのキャリア発達 ～コロナ禍における余暇を楽しむ人（Leisurite）としての熟達化～」で、参加者24名（話題提供者・コーディネーター含）という大盛況のキャリア教カフェとなりました。

研究推進委員会委員長の山田智之（上越教育大学）の挨拶に続き、家島明彦先生（大阪大学キャリアセンター 副センター長／准教授）より、スーパー（Super,D.E.）のライフ・キャリア・レインボウに示された余暇人とオタクの関係、オタクのキャリア発達モデル：OIモデル（岡田・家島,2020）など様々な角度からオタクについてお話いただき、今回のテーマ「オタクのキャリア発達 ～コロナ禍における余暇を楽しむ人（Leisurite）としての熟達化～」にせまりました。その後、話題提供者と参加者と熱いトークが進められ、瞬く間に時間が過ぎてしまいました。

最後に近畿地区部会代表の安達智子先生（大阪教育大学），副会長の高綱睦美（愛知教育大学）先生から閉会挨拶をいただき、「第1回キャリア教育カフェ（キャリア教カフェ）」を盛会のうちに終了することができました。

アンケートでは「学術的かつカフェという気軽さも持ち合わせたとても楽しい有意義な時間を過ごすことができました。」「オタクの世界を検証する話を、お酒を飲みながら自由に話し合う雰囲気がとても楽しかったです。」「家島先生のユニークなご研究のお話、ゆるゆるとしたトーク、いずれも興味深く心地よかったです。」「対面での集まりが減り、学会後の懇親会や呑み会はなくなりましたが、こんなふうに、全国のみなさんにつながることで、また、研究者以外の方のお話が聞けること、とてもよい機会だと思いました。」「非常にやわらかい雰囲気の中で軽やかなお話が続き、臨場感のあるものであったと感じました。」「司会の方が全員に話を振ってくださり、聞きっぱなしにならなくて大変良かったと感じました。」等の感想と、これからのキャリア教カフェを考える上での多くの示唆をいただきました。

皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

研究推進委員会委員長 山田智之